

ビッグハート 寛容な心で挑む、色鮮やかな「春日井力」
 春日井市の飲食店を中心とする
 お得なクーポン付き♪

ビッグハート

2024年度
 公益社団法人
 春日井青年会議所
 広報誌

知って欲しい私たちの想い

春日井JCI理事長
 齊藤 洋大

春日井市長
 石黒 直樹

対談

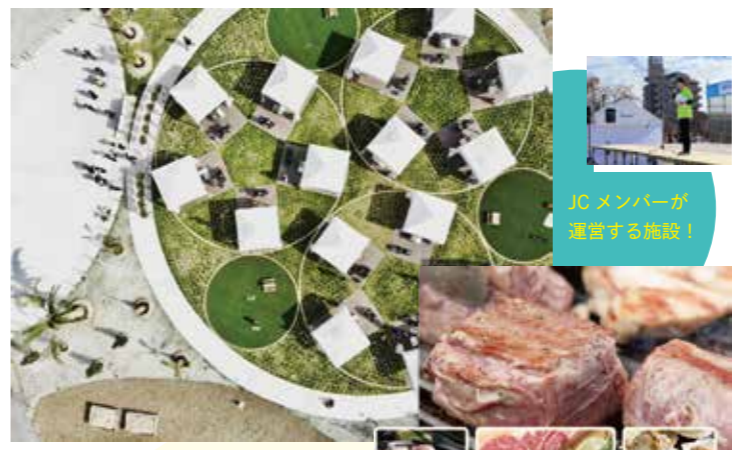
アンケート
 に答えて
 アマゾンギフト
 をGET!

現役生活お疲れ様でした。
 春日井出身力士元明瀬山
 井筒親方インタビュー

ビッグハート 2024年度 公益社団法人春日井青年会議所 広報誌

JCI Kasugai 発行元：公益社団法人春日井青年会議所
 〒486-0844 春日井市鳥居松町5-45 春日井商工会議所内 TEL0568-81-8480

春日井JCが誇る！ 春日井の魅力発見！



JCメンバーが運営する施設！
バーベキュー場
BBQ SPOT KASUGAI

2023年に誕生した新たなBBQ施設！
 子どもから大人まで手ぶらで気軽に楽しめる！
 大人も子供も楽しめる非日常空間をテーマにした手ぶらBBQ場です。
 風を感じながら、大人は開放的な空間で美味しいお肉やお酒を、子供達はアクティビティを楽しめます。
 また、春日井市を中心に、市内外の方の交流の場になって欲しいという願いを込め、ロゴに春日井名物のサボテンをあしらっております。

注 春日井市東野町茨沢2-1-3
 Tel. 080-9726-7345

代表の入谷さんに春日井JCの事業2月度例会にファイナリストとして出場！



クラフトビール専門店
バタフライブルワリー
 春日井市初のマイクロブルワリー！
 コンセプトは”音楽を聴きながらビールを愉しむ場所”

近年、ますます人気が高まっているクラフトビール。ブルワリーや製造会社の数も年々増加傾向にあり、2024年現在は800超のブルワリーが存在していると言われています。そんな中、2021年に春日井市で初のクラフトビール工房としてOPENしたのがバタフライブルワリー。生産量のある程度コントロールできるため小さな設備でも回転を早くし、様々な材料を使った種類豊富なビールの製造が可能。なんと14種類ものビールをラインナップ。全ての商品に楽器の名前がついているのも特徴です。その他にも、コラボビールの販売もしています。

注 春日井市大手田西町1丁目2-7 Tel. 080-4867-0322

-PRESENT-

アンケート(下記QRから)にお答えいただいた方の中から、抽選で**8名の方にアマゾンギフト1,000円分プレゼント!**

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSePhrQki-SVXst26D8mWnpkGlaZsM-bzeDKXhaUbdX5X0GHg/viewform>

-COUPON-

春日井JCのLINE公式アカウントにて、春日井の飲食店等でお得なクーポン配信中！
 今すぐ友だち登録を！！

※クーポン例

クーポン使用には春日井JC LINE公式アカウント友だち登録が必要です！
 今すぐ友だち登録でお得をGET!

JCI Kasugai **新入会員募集中!!**

(公社)春日井青年会議所は志高き品格ある青年男女を募集しております。

〒486-0844 春日井市鳥居松町5-45 春日井商工会議所内
 TEL: 0568-81-8480 FAX: 0568-84-2299 <https://www.kasugai-jc.com>

LINE公式アカウント @kasugaijc

Instagram JCI KASUGAI Follow me!

対談

春日井市長 石黒直樹 × 春日井JC 齊藤洋大



春日井市長 石黒直樹

昭和38年12月29日生(61歳)
青山学院大経済学部卒業
名古屋市立大学院経済学研究科修了
中部大学客員教授
昭和62年4月 春日井市に奉職
産業部長、建設部長、企画制作部長を経て
令和4年5月春日井市長に就任
趣味・特技 柔道4段・オカリナ演奏・読書



春日井JC 理事長 齊藤洋大

昭和59年9月30日生(39歳)
愛知県立春日井高等学校卒業
関西大学法学部卒業
関西大学大学院法務研究科卒業
2013年齊藤法律事務所開所と
同時に春日井青年会議所入会
2024年度理事長
趣味・特技 剣道2段・Mリーグ観戦・読書

ひとやまちに抱く私たちの「想い」

理事長・本日はお時間を割いていただきありがとうございます。春日井市は、昨年度で市制80周年ということで、おめでとうございます。私たち春日井JCも昨年55周年を迎え、5年後、10年後を見据えたビジョンを策定しました。その際にひと・まち・組織がより魅力的になるという意味で「春日井力」と言うキーワードを出しました。そこで、市長が考える魅力的なひとやまちについてお聞かせいただければと思います。

市長・まず魅力的なひとということですが、私は内面で言うと、例えば優しさとか思いやりがあるとか、自分に自信がある、自己研鑽しているひと、いざという時に頼りになるひと。それから心のゆとりがあるひとと魅力があると思います。外面ではまず笑顔があるひと、あとは礼儀正しいひと、その前提として挨拶ができるひと、そのようなひとが魅力的かなと私は思います。

それからまちについては、私はそこに住んでいるひとが暮らし続けたいと思えるようなまちに、魅力があると思っています。その中には利便性の高さとか、犯罪や交通事故もない、いわゆる安全で安心できるまち。また、自然や文化、歴史が豊かとか、あとは財政的に豊かと言われるような、持続可能であるまちはやはり魅力があると思いますね。

に向けてどうするかというと、やはり今はプッシュ型と言いますが、情報をどんどんお知らせすることが大切だと思っています。現在、市の公式LINEの活用を積極的に進めており、広報誌の情報を始め、文化・スポーツ行事のご案内、安全安心情報など、様々な情報を配信しています。ぜひ登録していただき、情報を受け取ってほしいですね。我々も情報を点ではなく面でお知らせできるような方法をしっかりと考えて、皆さんにお届けしたいと思っています。

【市長に聞いてみました】

理事長・石黒市長が参考にされている市や首長さんはいらっしゃいますか。

市長・全国には1718の市町村がありそれぞれに個性ある首長がいるわけですが、その中で特定の人はいいですね。ただ、参考にしなければいけないまちや市はあると思っています。例えば春日井市の近隣の市。東尾張の市長だけの会議があり、日頃から情報共有をしています。また、県は遠く道、川、空で繋がっている多治見市は大事なまちだと考えていて、連携協定を結んだり、一緒に交通事故防止の活動をしたりしています。あとは、春日井市は人口約31万人なので同じ人口規模のまちが何をやっているかは意識していますね。



理事長・ありがとうございます。私も同じようにどのようなひとやまち、組織が魅力的なのかというのを考えた時に「寛容」というキーワードを出しました。自然と人が集まってくるようなひと、まち、組織というのは魅力的で、そこに共通しているのは助け合えるところか受け入れてくれるんじゃないかという存在。それを「寛容」という言葉で表現し今年の春日井JCは「春日井力」「寛容」というのをテーマにしています。先ほど市長が言われた心のゆとりなども共通している点があるかなと思います。

そして、そのような魅力づくりのひともありませんが、春日井市では今年「いきがいの想いを教えていただけますか。」

市長・まず、私は人生100年時代をテーマにしています。データを見ると平成生まれの2人に1人は寿命が100歳を超えるそうです。そういう時代にいきがいを持つって長い人生をどう生きていくかというのがテーマだと思っています。そしていきがいの考え方、価値観によって違います。例えば文化に生きがいを持つひと。スポーツ、趣味、仕事、ボランティアもそうですよね。想いはひとそれぞれなので、それぞれがいきがいを生かして生きていく。それがなかなか見つからないひとには、行政としてもサポートをして、いきがいをサポートしてもらいたい。そんな想いから「いきがいの創生部」を創設しました。

理事長・市長が20代30代に戻ったらJCの入会にご興味いただけますか。

市長・JCさんがされている青年経済人としての活動は、共感できるところがたくさんあります。社会奉仕をされているという意味でも素晴らしいと思います。なので、自分が20代30代に戻ったら入りますか?と聞かれたら入りたかったと言います。また、これまでJCさんに派遣させていただいた市の職員が2人いますが、市の仕事をやる上でJCさんの活動は大変役立つと言っています。活動としては大賛同しています。

理事長・ありがとうございます。市長にもどのように考えていただいている団体だということと「アピール」に使わせていただきます(笑)。本日はお忙しい中、ありがとうございます。市長・またぜひお話ししましょう。ありがとうございます。

【市民の皆さまへのメッセージ】

市長になって丸二年経ちましたが、皆さんのおかげで今があると思っています。ありがとうございます。

市の仕事は人の「想い」を形にすることだと思っています。我々は公共の福祉とよく言うのですが、「福」も「祉」も幸せという意味です。市民の皆さんが幸せになっているのか、その「想い」を形にするのが行政の仕事だと思っています。傾聴と対話、それから私としては判断して決断する、そして行動することを続けていきたいと思っています。ただ、これは皆さんの信頼がないとできません。信用を積み重ねて信頼につなげる、そして市民の皆さんと一緒にまちづくりをする。それが市民役のまちづくりだと思います。どうぞよろしくお願います。

市長・明るいまちというと、後ろ向きではなく常に前向き、生活していて誰もが未来が見える、文字通り明るいまちだと思います。それから豊かなまちというのは、先ほどの魅力的なまちの話とも関連しますが、経済的な豊かさ、心の豊かさも大事です。そういったことが一体となり相乗効果となって進んでいるまち、そして一番大事なのは住みたいまちではなく、私たちが住み続けている人たちが住み続けたいまちが、明るい豊かなまちだと思います。



理事長・そのようなまちづくりを目指している中で、様々な活動や施策を実施されていると思いますが、その情報伝達の仕方についても伺いたければと思います。春日井JCも56年の歴史がありますが、もっと知名度を上げたい、もっと想いを知っていただきたいという課題があります。今後、市としての活動内容や春日井の魅力を市内外の方にアピールするところでお考えはありますか。

市長・これは正解がないでしょうね。情報というのは送る側と受ける側がいて、どうしても受ける側には「届かない」「知らない」という人はいます。そういう方々



現役生活お疲れさまでした。 春日井出身力士 元明瀬山 井筒親方インタビュー

元幕内明瀬山（38）＝本名深尾光彦。愛知県出身。最高位は東前頭12枚目。現役引退後、年寄「井筒」襲名。現在は木瀬部屋の部屋付き親方として後進の指導・育成にあたっている。



2023年7月の名古屋場所で引退。断髪式は、本年(2024年)6月多くの大相撲ファンが見守る中、両国国技館で取り行われた。



襲名。



あいさつでは、現役時代の不屈の道のりを語り、涙する場面も。



長男の颯之佑ちゃんを抱っこし、「最後の一番」を取る一幕も。

加藤…少し話は変わりまして、5月にわんぱく相撲春日井場所が、6月には愛知ブロック大会がまさにここ総合体育館の土俵で開催されました。親方も小学4年生、5年生のときに出場され全国優勝も果たされているかと思いますが、その時の思い出、印象的だったことなどはありますか。

井筒親方…予選の春日井場所からはじまり愛知ブロック大会、最後に全国大会でしたが、一番緊張したのは春日井場所でした。1回負けたらもうそこで終わり、優勝しか道がありませんから。また全国大会は東京の両国国技館で開催されます。自分の時代は若貴ブームの若乃花関や貴乃花関、曙関とか、そのような方が相撲を取っている両国国技館の土俵で相撲ができるというのはやはり嬉しかったですね。また、相撲部屋に泊まることのできたんですけど、同じ生活を体験できるというのも嬉しかったですね。

加藤…力士のみなさんにとってわんぱく相撲というのはどのような立ち位置、捉え方をしていたのでしょうか。そもそも知っていたらいるものなのでしょうか。井筒親方…そうですね。小さいころから相撲をやっている人も多いですし、柔道などから相撲に転向された人もいますけど、ほとんどの人はわんぱく相撲の全国大会を目指してきていると思いますし、大きな目標だったと思います。わんぱく相撲を経験して強い力士になった人も多いと思いますよ。

加藤…わんぱく相撲は青年会議所全体として長く実施している大切な事業であると考えています。青年会議所やわんぱく相撲というものの対しての想いなどがあればお聞かせいただけますでしょうか。井筒親方…青年会議所がないとわんぱく相撲という大会もできませんし、全国大会の際は引率も全部やってくれますし、一緒に相撲部屋も泊まってくれます。

青年会議所さんのがんばりのおかげでわんぱく相撲が出来ていると思いますので、感謝しています。わんぱく相撲が無ければ自分のこの立ち位置も無かったかもしれません。

加藤…ここからは春日井というまちに少しフォーカスをあてて質問をさせていただきます。大相撲は取り組みの案内時に出身地が読み上げられるかと思っています。その際に春日井を背負って、といったお気持ちなどは芽生えるものでしょうか。

井筒親方…意識することは無かったです(笑)。背負ってというのは大げさですが、特に名古屋場所は愛知県春日井市とアナウンスされたらたくさん拍手をいただきますし、それは本当にありがたかったです。その拍手で今日もやってやると気持ちを上げていくということもありました。少し前までコロナ禍で声援がダメだったということもあり、特に年を重ねてからは拍手されたら自分のやる気スイッチもそこが入りました。地元の方から応援されているという自覚が芽生えますね。

加藤…高校から春日井を出られて、地元を離れてから長くなったかと思えます。ある種外から見るとようになった「春日井」というのはどのようなまちに見えますでしょうか。



井筒親方…やっぱりふるさとと言いますか、15歳でまちを出てそこからは相撲のことで頭がいっぱいでしたけど、地元に戻ってくる和家人をはじめ友人もいて一番和むまちじゃないですかね。

オーランドや、食事場所だったらたむろ、夏になると温水プールも行きましたし、思い出の場所はたくさんあります。当時は総合体育館には土俵がなくて三ツ又ふれあい公園でわんぱく相撲をやっていた、現在大会を開催している土俵ができたのが小学6年生くらいでしたが、テープカットしたこともよく覚えています。結構頻りに帰ってきますので居心地の良いまちだと思います。

加藤…最後に、春日井・愛知・全国の多くの方が応援され、そして労っていらっしゃるかと思えます。そんな皆さまへメッセージをお願いします。

井筒親方…現役中はたくさん応援していただきました。もう引退しましたがど大相撲というのはまだこれからも続きますし、春日井から名古屋場所の愛知県体育館もすぐですのでぜひ足を運んでいただけたら嬉しいです。加藤…インタビューは以上となります。本日はお忙しい中ありがとうございました。これからの活躍も応援しております。

加藤…この度は名古屋場所前のお忙しい中、貴重なお時間をいただき誠にありがとうございます。早速ではございますがインタビューを始めさせていただきます。まずは、先日の断髪式・襲名式お疲れ様でした。私たちが両国国技館で拝見させていただきました。引退は昨年7月(名古屋場所)とまさに1年前ではありますが、引退された現在の率直な心境を伺えますでしょうか。井筒親方…やっつと、というのもあれですが終わったんだと。大相撲に入って15年、相撲人生で言うと32、33年やっていますから。もう目一杯やったなと思っています。

加藤…15年にもおよぶ力士人生でしたが、現役時代に抱いていた想いや目標はどのようなものだったでしょうか。

井筒親方…やはり目標は関取を目指してやってきました。自分が入ったときには700人くらい大相撲力士がいてその中で70人しか取れない、つまり10人に1人しか取れない関取。中でも幕下、筆頭から5枚目の時がまさに天国か地獄かという戦いで一番苦しかったですが、関取に上がったファンも増えましし応援して下さる方も増えましたので、キツイ思いをしてもやはりうれしかったです。

加藤…そして年寄名跡である「井筒」を襲名されました。親方という立場になられて、より部屋全体や相撲界のことを考えることも増え、現役時代とはまた違った想いやお考えが生じたのかなと推察します。そのようなことも含めて、現在の想いや目標を教えてくださいませんか。

井筒親方…自分は木瀬部屋という部屋ですが、自分のところの若い衆が関取に上がってほしいというのが今の一番の目標です。厳しく稽古をしないと上がれない世界である一方で、時代背景も変わっているのでそこは難しいですね。上手くアメと鞭を使って悩みながらやっています。

わんぱく相撲全国大会に 出場する子どもたちが インタビューしました。

湯沢くん…立ち合いで意識していることはありますか。

井筒親方…立ち合いはあんまり強く当たりすぎないこと。100%でいくといなされて力を利用されることがあるから自分は7、8割くらいの意識していました。

湯沢くん…ケガをしない体づくりのために柔軟以外ですべきことはありますか。

井筒親方…やっつぱり四股でしょう。四股とぶつかり。ぶつかりはケガしないのでたくさんやって強くなってください。

村上さん…全国大会に出るにあたっておすめのトレーニングはありますか。

井筒親方…これも四股だね。あとはすり足とか脇の締め方を練習するだけでもトレーニングになります。相撲は力だけではなく崩し合いなので、体勢を崩さないためにお腹周りとか体幹を鍛えるといいです。タイプにもよるけど、何をすることも踏ん張る力が必要なので、適当にはなく良い四股を何回も踏むことが大切なと思います。

青山さん…家がマンションなんですけど、音が下に響かないような練習はありますか。

井筒親方…公園に出ましよう(笑)。今は相撲クラブに女の子もいるので、そこで思い切り相撲を楽しむのも良いと思うよ。あとは股割などの柔軟は音が出ないし、さっきも言ったように意識して脇を締めるだけでも体が鍛えられるよ。全国いくからは1番でも2番でも勝りたいと思うのがわんぱく相撲だ。



共創力の育成

2月度例会

君の想像力が春日井を変える

革新的な活動を行っている春日井にゆかりのあるイノベーターを募集し、1次審査を通過した10名のファイナリスト達によるプレゼン大会を行いました。

プレゼンターの方々の活動内容を広め、ファンの拡大観覧者の皆様に新しい考え方に触れて頂くことを目的に開催致しました。



地域力の推進

3月事業

Basketball 3×3 桜チャレンジフェスタ 2024

春日井の魅力となりうる資源として「バスケットボール」にスポットを当て、トヨタ自動車アンテロープススタッフ・社会人クラブチーム LOWS の選手によるバスケット教室と誰もが輝く3x3大会桜チャレンジカップを行いました。参加した人たちが一緒に春日井の新たな魅力を創り、まちへの誇りや愛着を持つことを目的に開催致しました。



福祉力の強化

5月事業

第34回わんぱく相撲春日井場所

全国大会までの第一歩、わんぱく相撲春日井場所を開催しました。どんな状況でも最後まで一生懸命相手に立ち向かう姿は、多くの人に感動を与えてくれました。今回は相撲をやらない子どもたちも募集し、ちゃんこ鍋やブースラリーを楽しんでいただきました。子どもたちが地域に頼れる場所があるという安心感をもち、相撲を通して敬い励まし合える仲間を増やせることを目的に開催致しました。



会員の向上

6月度例会

入会承認証書伝達式

春日井 JC は1月から6月末まで拡大活動（仲間づくり）を行っています。本年度は「全員拡大」をテーマに活動し、OB諸兄弟や多くの関係者の皆さまのご協力もあり『22名』の新入会員が入会しました。新たなメンバーを迎え入れ、仲間としていち早く交流できるよう、入会承認証書伝達式を開催致しました。

春日井 JC は面白いんです！



春日井

明るい豊かな社会の実現へ
寛容な「ひと」「まち」づくりに挑戦！
春日井 JC が行ってきた事業をご紹介します！



福祉力の強化

4月度例会

共に生きるを考える ノーマライゼーションってなあになあに？

障がいを抱えながらも自立し積極的に活動している山田千縁様、佐野有美様を講師としてお迎えし、講演とパネルディスカッションを通じて障がい者に対する理解を深めるとともに、ノーマライゼーションについて学びました。一人ひとりが障がい者に対する理解を深めながら「障害の有無に関わらず、誰もが共に生きるためにはどのように行動していけばいいか？」を思考する契機を設けることを目的に開催致しました。



共創力の育成

5月度例会

「ウォーターサバゲー ～君が攻めるなら、僕が守る！～」

わいわいカーニバル内にて完全オリジナルルールのウォーターサバゲー大会を開催しました。相手チームを励ましている姿、泣いていたけれど友達のがんばろう！の声にまた1歩踏み出している姿、「次はこうしよう！」と作戦を練り共有しあっている姿を多く見ることができました。子どもたちが個性を發揮し団結することで、他人のこころを想いやる力を養うことを目的に開催致しました。

今後の事業予定

8月

8月事業「みんなでつくる！ハイコー！サイコー！運動会 in まごめ合宿」
日時：8月24日（土）～8月25日（日）
場所：馬籠ふるさと学校
学校に泊まれる、普段体験できない1泊2日の合宿です。個性を活かし合い行動できる人材を育成することを目的に開催致します。

9月

9月度例会 「春日井アイデアマルシェ～学企コラボでワクワク商品開発～」
日時：9月15日（日）10:00～15:00
場所：勝川駅前広場
学生がアイデアを出し企業と共に考え開発した商品が勝川で購入できます。参加学生様には自分が考えたものが形にできるのを感じていただくこと来場者様にはまちをより良くしたいという意識をもったいただくこと参加企業様には連携することが新しい魅力を創り出すきっかけになることを感じていただけることを目的に開催致します。

10月

10月度例会 「春日井バス祭り～未来へつなげ！夢の1,000本シュート！～」
日時：10月19日（土）10:10～15:00
場所：春日井まつり会場
【制作型ブース】【体験型ブース】【署名型ブース】から成る5つのブースを通してバスケットを身近に感じ、気軽にバスケットボールに触れていただきます。新たな資源に関心を持ち、まちの魅力を伝播する好循環を生み出すことを目的に開催致します。

10月

10月宵祭りの開催「お笑いコンテスト KAS-1 グランプリ～春日井まつりは夜まで面白いんです～」
日時：10月19日（土）18:00～20:00
場所：春日井役所 文化フォーラム前メインステージ
お笑い芸人の方々をゲストとしてお招きして、春日井お笑いコンテストを開催致します。コロナ禍を終えた今だからこそ、人と人との感動や笑いを共有することで、活力となっていたければ幸いです。

春日井 JC の組織概要や
活動の詳細は下記QRから
ホームページをcheck!!



春日井青年会議所 | 検索

<https://www.kasugai-jc.com/>



JR 春日井駅改札前大型ビジョンにて
春日井 JC の紹介ムービー放映中！！

JR 春日井駅の大型ビジョンで放映
している(R6.9月中)映像もホーム
ページから閲覧可能です！